

共生・公正・創造



# 東日本タイムズ号外

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~JRTU-HWU/>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

【シリーズ19】

## 反松崎・反本部派の「猛獣王国」サイトの出現と充実化

「嶋田たちのホームページ」が忽然と姿を消して数カ月が過ぎた9月初旬頃、『猛獣王国』と名付けられた反松崎・本部派のものらしきホームページが出現し、「JR東労組の方針は『総団結』ではなく、『相談決』だ！」などと、再びインターネットを利用した松崎・本部派への批判が開始された。『相談決』とは、意思決定能力がまるでなく、何事も松崎氏の指示どおりに動いている本部役員の盲従ぶり（いわゆる「松崎チルドレン」の生態）を指しての批判的造語であることはいままでのまではない。

『猛獣王国』は、「猛獣らしく生きるために」、「猛獣たちの叫び」、「偽善者たちの蛮行」に大別されるが、「偽善者たちの蛮行」はその後、＜長野編＞、＜千葉編＞、＜横浜編＞に分割・進化（10月下旬）するなど、質量共に充実しつつある。

ここで、『猛獣王国』ホームページの「猛獣たちの雄叫び」欄への投稿から重要と思われるものを幾つか選んで紹介する。

なお、いわゆる“怪文書”の範疇に分類されるこの『猛獣王国』ホームページには、「このホームページにあるあらゆる文章の転載をとりあえず禁止します」という一種の牽制的“断り書き”めいたものが付されてはいるが、「それが本心からのものであるならばわざわざインターネットに掲載しなれよいい」わけで、掲載者の本音は逆に「周知」と「転載」を希望しているものと理解して差し支えないものと思われる。

J R 東労組の方針は「総団結」じゃなくて「相談決」だ！ <04年9月6日>

この間、M（松崎）教派の奴らは、真実を「虚実」にすり替え、真実を話そうとすれば「任にあらず」「組合員にあらず」と叫びまくった。挙げ句にはでっち上げ「制裁」の乱発だ。JR東労組は、組合員のための労働組合ではなく“かの方＝「創始者」”をお守りするための組織になり果ててしまった。

職場では、「抵抗とヒューマニズム」の欠片もない役員たちが大手を振ってはびこり、「俺たちに従え、文句を言うな！」と恫喝する毎日。意見を言えば「反本部か！」と脅かされ、物が言えない空気に怯える組合員。意見など一切聞かない形だけの職場集会やイエスマンだけを集めた機関会議が開催され続けている。

あの労働組合らしい組織は何処に行ってしまったのだろうか？ - 中略 - 。狂っているぜ。組合員は嘆いている。「こんな組織ではなかったはず」だと……。

今や「総団結」という言葉のもとにさらに組織混乱が深まっている。「総団結」とは「大同団結」であって、「様々な意見を認めた上で一つにまとまろう」ということのはず。「水と油とマヨネーズ」の組織を変えてきたその教訓など、今の執行部は何もわかっていない。組合民主主義など「クソ食らえ！」なのだ。

残念ながら、この組合にとって大事なものは「総団結」ではなくて「相談決」で運営できる組織を維持することなのだ。“かのお方＝「創始者」”に相談して決めたことに文句を言わず従う組合員がいればよいと言うことだ。余りにも力が弱ったわが組合に、会社も権力もほくそ笑んでいるよ。

しかし、俺たちは負けてはならない。これ以上奴らの好き勝手にさせてはいけない。「強大な権力」による組織内大弾圧に負けずに闘い抜こう！

< P . N 静かなるファイター >

< JR 東日本労政『二十年目の検証』102ページから103ページより抜粋 >

# 民主化の声・声・声・・・

2005.11.15

その19

**東労組への革マル浸透問題、これだけの理由！**

2002.11.12 松崎明宅にも裏付け搜索！

## 東京地本や中央本部幹部宅20数箇所も搜索！

2002年11月12日、警視庁公安部は、東労組の元会長である松崎明氏の自宅をはじめ数十箇所へ家宅搜索を行った。

<フジテレビ FNNニュース(2002.11.12)>

J R 東労組の幹部らによる退職強要事件で、警視庁は今朝から容疑の裏付けのため、J R 東労組の松崎明元会長の自宅など関係先の家宅搜索に乗り出しました。

この事件は、革マル派活動家でJ R 東労組の幹部梁次邦夫容疑者らが、去年1月頃から、同じ東労組の組合員に対し、執拗に脅しをかけて退職に追い込んだとして、強要容疑で逮捕されたものです。

警視庁は今朝から、容疑の裏付けのため、J R 東労組の関係先20数カ所の家宅搜索を行っていて、東京外神田のJ R 東労組の東京支部には、午前9時頃、およそ10人の捜査員が入りました。また、この搜索には埼玉県小川町にあるJ R 東労組の松崎明元会長の自宅も含まれています。警視庁は、今後押収した資料を分析し、退職強要事件の全容解明を進める方針です。



報道によると、家宅搜索は、松崎明(まつざきあきら)元東労組会長の自宅を含む20数カ所に及ぶものであり、1日以降、本事件に関する家宅搜索・現場検証箇所は合わせて約80カ所に及び、異例の大規模搜索となっている。

**労働運動に過激派(革マル派)はいらない！**